

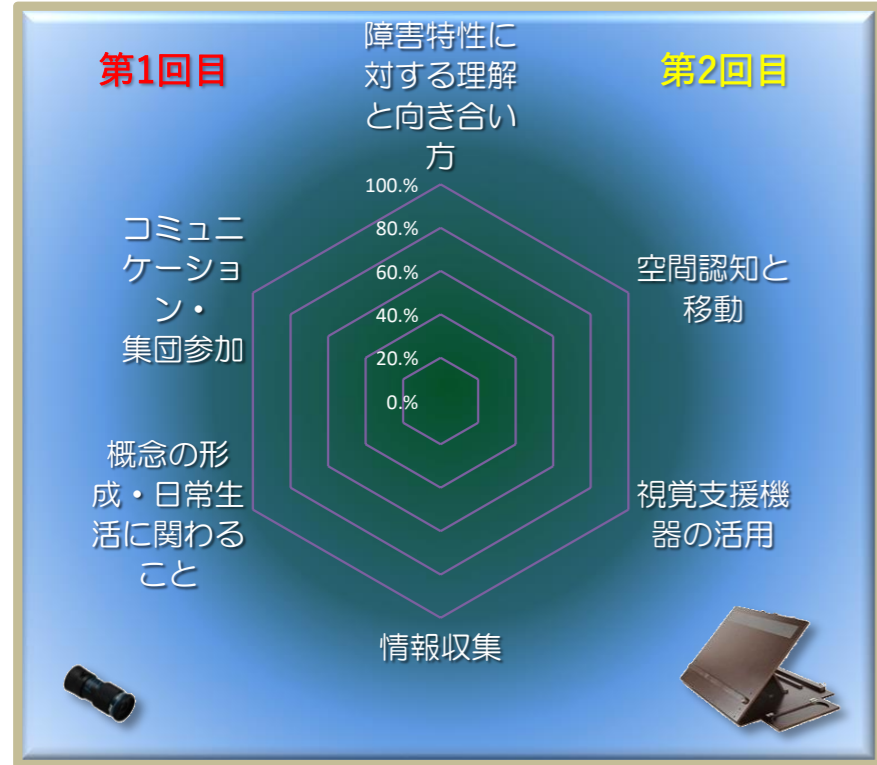
自立活動アセスメントシート 視覚

©SSC

①学校名 : _____
 ②学年 : _____
 ③在籍学級 : _____



<領域別結果>



<担当者による分析>

※文字の大きさは個人で設定してください。

第1回目実施年月日⇒		1 回目	2 回目
A. 障害特性の理解と向き合い方			
④	自分の見え方と晴眼者の見え方の違いを理解していますか？		
⑤	自分の眼疾患や見え方によって、日常生活で気をつけることが分かり、行動できていますか？		
⑥	自分の見え方に応じた、見えやすい文字の大きさやフォントなどを知っていますか？		
⑦	自分の見え方に応じて、座席の位置を調整したり、見やすい位置を伝えたりすることができますか？		
⑧	自分の見え方に合わせて、分かりやすいように持ち物を整理したり、置く場所を決めたりすることができますか？		
⑨	より学びやすく、より生活しやすくするために、新しい手段を身に付けようとする意欲をもっていますか？		
⑩	視覚補助具等を日常的に自分に必要な物として、人前で使用することができますか？		
B. 環境の認知と歩行			
⑪	学校や建物の構造（部屋、廊下、階段など）について理解し、位置関係を平面の地図で表すことができますか？		
⑫	校内地図を使って、歩いたルートを辿ったり、目的地までのルートを決めたりすることができますか？		
⑬	学校から自宅までなど、歩きなれたルートを、地図を使って表すことができますか？		
⑭	歩行する時に、予測に必要なランドマークを見つけようとする事ができますか？		
⑮	交差点や横断歩道、車道と歩道の関係など、道路の基本的な構造について理解できていますか？		
⑯	バスや電車等の公共交通機関の利用の仕方について体験的に知っていますか？		
⑰	自宅から身近な場所（学校、公園、スーパー等）に自分の力で安全に行くことができますか？		
C. 視覚支援機器の活用			
⑱	学習場面で、黒板などの遠方の情報を得る手段として、単眼鏡やタブレット等を活用する技能が十分ついていますか？		
⑲	学習場面を含め日常的に遠方の情報を得る手段として、単眼鏡とタブレットそれぞれの利点を理解して、場面に応じて使い分けることができますか？		
⑳	学習場面で教科書やプリント等の細かな情報を得る手段として、ルーペを活用する技能が十分ついていますか？		
㉑	拡大読書器を使用して観察をしたり、文章をスムーズに読んだり、作図をしたりする技能が十分ついていますか？		
㉒	学習用デジタル教科書の操作方法を理解し、必要に応じて拡大したり、音声読み上げを活用したり、書き込んだりすることができますか？		
㉓	拡大教科書、学習者用デジタル教科書それぞれの利点を理解して、場面に応じて使い分けることができますか？		
㉔	タブレット端末等の読み上げ機能や音声入力などを活用することができますか？		
㉕	タッチタイピングで文字を入力することができますか？		
㉖	ノートアプリ等を使って、ノートを作成することができますか？（単元ごとにまとめる、タイトルをつける等を含む）		

第2回目実施年月日⇒		1 回目	2 回目
D. 情報収集			
㉗	自分の見え方に合わせて、対象物の細部の情報までしっかり見て確認しようとする意識がありますか？		
㉘	遠くにある情報を積極的に取り入れる姿勢がありますか？		
㉙	自分の見え方に合わせて、全体と部分に関係づけながら見たり、知っている物はその一部を見て全体を予測したりすることができますか？		
㉚	2つの物を比較して見たり、途中で視線を外した後も元の部分を素早く見つけたりすることができますか？		
㉛	話や説明を聞いて、概要を理解し、まとめることができますか？		
㉜	対象物の形や大きさ、手触り、構造、機能等を丁寧に観察することで知ろうとすることができますか？		
㉝	測定器を使用しなくても、およその長さや重さ、時間などが分かりますか？		
E. 概念の形成・日常生活に関わる事			
㉞	生活上で使う言葉や語彙（物の名称、形容表現、抽象表現）の理解が十分にできていますか？		
㉟	動物や昆虫、植物などの生活に身近な自然のものの属性や形、色、大きさ等、的確な概念が形成されていますか？		
㊱	物事について、一面的な理解にらずに、全体像や部分の特徴、関連する事柄など、多面的に理解することができますか？		
㊲	経験値から得た知識や概念を活用して、新しい物の特性などを把握しようとしたり、行動の手掛かりにしようとしたりすることができますか？		
㊳	見られている意識をもって、身なりを整えることができますか？		
㊴	学習に必要な用具（消しゴム、はさみ、カッター、定規、コンパス等）をスムーズに扱うことができますか？		
㊵	家庭生活において必要な作業（調理、裁縫、片付けなど）を、補助する道具を活用したり、自分なりに工夫したりして行うことができますか？		
F. コミュニケーション・集団参加			
㊶	他者とのやりとりをすることや伝え合うことに意欲がありますか？		
㊷	自分の気持ちを言葉にししたり、書いたりして表現することができますか？		
㊸	声の抑揚や調子の変化から相手の気持ちや意図を読み取ることができますか？		
㊹	話に割り込んだり、場違いな質問をしたりせず、場に応じた話題で話をする事ができますか？		
㊺	場所や場面に応じて、声の大きさの調節や話し方に気をつけて話をする事ができますか？		
㊻	相手との身体的な距離感に気をつけて接することができますか？		
㊼	場面に応じて、適切な言葉で援助を依頼することができますか？		
㊽	集団の遊びや活動でのルールや決まり事を守ることができますか？		

SSC Kyoto Prefecture Super Support Center
 京都府スーパーサポートセンター

<今後の取組のポイント等>

領域	項目	指導内容・留意点等	※文字の大きさは個人で設定してください。